

3 1年間の記録

(1) 付議事件及び議決結果一覧表

① 市長提出議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第1号	監査委員の選任について	5. 2. 22	5. 2. 22	同意
議案第2号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	5. 2. 22	5. 2. 22	同意
議案第3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	5. 2. 22	5. 2. 22	同意
議案第4号	飯田市南部財産区管理委員の選任について	5. 2. 22	5. 2. 22	同意
議案第5号	飯田市中央財産区管理委員の選任について	5. 2. 22	5. 2. 22	同意
議案第6号	飯田市長野原財産区管理委員の選任について	5. 2. 22	5. 2. 22	同意
議案第7号	飯田市上川路財産区管理委員の選任について	5. 2. 22	5. 2. 22	同意
議案第8号	飯田市山本区財産区管理委員の選任について	5. 2. 22	5. 2. 22	同意
議案第9号	飯田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第10号	飯田市有線テレビジョン放送施設条例及び飯田市遠山郷有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第11号	飯田市中心間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第12号	飯田市授産施設条例及び飯田市社会福祉審議会条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第13号	飯田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第14号	飯田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第15号	飯田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第16号	飯田市上村木材工芸品加工販売施設条例を廃止する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第17号	飯田市上村観光施設条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第18号	飯田市南信濃観光施設等条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第19号	飯田市営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第20号	飯田市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第21号	飯田市病院事業条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第22号	飯田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第23号	飯田市これからの学校のあり方審議会条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第24号	飯田市プール条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第25号	飯田市恒川史跡公園条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第26号	飯田市美術博物館条例の一部を改正する条例の制定について	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第27号	工事請負契約の一部変更について（産業用地整備事業龍江インター産業団地整備工事）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第28号	工事請負契約の一部変更について（過年発生土木施設補助災害復旧事業橋りょう架設工事）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第29号	令和4年度飯田市一般会計補正予算（第9号）案	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第30号	令和4年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第31号	令和4年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第2号）案	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第32号	令和4年度飯田市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）案	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第33号	令和4年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第2号）案	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第34号	令和4年度飯田市病院事業会計補正予算（第2号）案	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第35号	令和5年度飯田市一般会計予算（案）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第36号	令和5年度飯田市国民健康保険特別会計予算（案）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第37号	令和5年度飯田市後期高齢者医療特別会計予算（案）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第38号	令和5年度飯田市介護保険特別会計予算（案）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第39号	令和5年度飯田市地方卸売市場事業特別会計予算（案）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第40号	令和5年度飯田市駐車場事業特別会計予算（案）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第41号	令和5年度飯田市墓地事業特別会計予算（案）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第42号	令和5年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計予算（案）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第43号	令和5年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計予算（案）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第44号	令和5年度飯田市病院事業会計予算（案）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第45号	令和5年度飯田市水道事業会計予算（案）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第46号	令和5年度飯田市下水道事業会計予算（案）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第47号	令和5年度飯田市各財産区会計予算（案）	5. 2. 22	5. 3. 20	可決
議案第48号	飯田市松尾地区財産区管理委員の選任について	5. 5. 9	5. 5. 9	同意
議案第49号	飯田市駄科財産区管理委員の選任について	5. 5. 9	5. 5. 9	同意

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第50号	飯田市千代財産区管理委員の選任について	5. 5. 9	5. 5. 9	同意
議案第51号	令和 5 年度飯田市一般会計補正予算（第 1 号）案	5. 5. 9	5. 5. 9	可決
議案第52号	農業委員会の委員の任命について	5. 5. 30	5. 5. 30	同意
議案第53号	飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について	5. 5. 30	5. 6. 26	可決
議案第54号	飯田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び飯田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	5. 5. 30	5. 6. 26	可決
議案第55号	飯田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	5. 5. 30	5. 6. 26	可決
議案第56号	飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について	5. 5. 30	5. 6. 26	可決
議案第57号	飯田市未熟児養育医療費用徴収条例の一部を改正する条例の制定について	5. 5. 30	5. 6. 26	可決
議案第58号	飯田市水道条例の一部を改正する条例の制定について	5. 5. 30	5. 6. 26	可決
議案第59号	飯田市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	5. 5. 30	5. 6. 26	可決
議案第60号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	5. 5. 30	5. 6. 26	可決
議案第61号	土地の取得について	5. 5. 30	5. 6. 26	可決
議案第62号	市道路線の変更について	5. 5. 30	5. 6. 26	可決
議案第63号	令和 5 年度飯田市一般会計補正予算（第 2 号）案	5. 5. 30	5. 6. 26	可決
議案第64号	令和 5 年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第 1 号）案	5. 5. 30	5. 6. 26	可決
議案第65号	令和 5 年度飯田市水道事業会計補正予算（第 1 号）案	5. 5. 30	5. 6. 26	可決
議案第66号	工事請負契約の締結について（橋りょう耐震整備事業橋梁耐震整備工事）	5. 5. 30	5. 6. 26	可決
議案第67号	令和 5 年度飯田市一般会計補正予算（第 3 号）案	5. 6. 26	5. 6. 26	可決
議案第68号	令和 5 年度飯田市水道事業会計補正予算（第 2 号）案	5. 6. 26	5. 6. 26	可決
議案第69号	教育委員会の委員の任命について	5. 8. 30	5. 8. 30	同意
議案第70号	飯田市空家等の適正な管理及び活用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	5. 8. 30	5. 9. 25	可決
議案第71号	飯田市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	5. 8. 30	5. 9. 25	可決
議案第72号	飯田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	5. 8. 30	5. 9. 25	可決
議案第73号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	5. 8. 30	5. 9. 25	可決
議案第74号	工事請負契約の締結について（令和 5・6・7 年度かぐらの湯新規源泉掘削工事）	5. 8. 30	5. 9. 25	可決

事件番号	事 件 名	上 程 日	議 決 日	議 決 結 果
議案第75号	市道路線の廃止について	5. 8. 30	5. 9. 25	可決
議案第76号	市道路線の変更について	5. 8. 30	5. 9. 25	可決
議案第77号	令和 4 年度飯田市水道事業剰余金の処分について	5. 8. 30	5. 9. 25	可決
議案第78号	令和 4 年度飯田市下水道事業剰余金の処分について	5. 8. 30	5. 9. 25	可決
議案第79号	令和 5 年度飯田市一般会計補正予算（第 4 号）案	5. 8. 30	5. 9. 25	可決
議案第80号	令和 5 年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）案	5. 8. 30	5. 9. 25	可決
議案第81号	令和 4 年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について	5. 8. 30	5. 9. 25	認定
議案第82号	令和 4 年度飯田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	5. 8. 30	5. 9. 25	認定
議案第83号	令和 4 年度飯田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	5. 8. 30	5. 9. 25	認定
議案第84号	令和 4 年度飯田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	5. 8. 30	5. 9. 25	認定
議案第85号	令和 4 年度飯田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	5. 8. 30	5. 9. 25	認定
議案第86号	令和 4 年度飯田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	5. 8. 30	5. 9. 25	認定
議案第87号	令和 4 年度飯田市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について	5. 8. 30	5. 9. 25	認定
議案第88号	令和 4 年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算認定について	5. 8. 30	5. 9. 25	認定
議案第89号	令和 4 年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計歳入歳出決算認定について	5. 8. 30	5. 9. 25	認定
議案第90号	令和 4 年度飯田市病院事業決算認定について	5. 8. 30	5. 9. 25	認定
議案第91号	令和 4 年度飯田市水道事業決算認定について	5. 8. 30	5. 9. 25	認定
議案第92号	令和 4 年度飯田市下水道事業決算認定について	5. 8. 30	5. 9. 25	認定
議案第93号	令和 4 年度飯田市各財産区会計歳入歳出決算認定について	5. 8. 30	5. 9. 25	認定
議案第94号	令和 5 年度飯田市一般会計補正予算（第 5 号）案	5. 9. 25	5. 9. 25	可決
議案第95号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	5. 11. 24	5. 11. 24	同意
議案第96号	飯田市千代財産区管理委員の選任について	5. 11. 24	5. 11. 24	同意
議案第97号	飯田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第98号	飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の制定について	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第99号	飯田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第100号	飯田市営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について	5. 11. 24	5. 12. 20	可決

事件番号	事 件 名	上 程 日	議 決 日	議 決 結 果
議案第101号	飯田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第102号	飯田市市道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第103号	飯田市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第104号	飯田市議会議員及び飯田市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第105号	土地の取得について	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第106号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市福祉会館）	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第107号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市南信濃障害者等活動支援センター）	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第108号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市デイサービスセンター）	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第109号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市南信濃高齢者共同住宅）	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第110号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市特別養護老人ホーム）	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第111号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市地域子育て支援拠点施設）	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第112号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市休日夜間急患診療所）	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第113号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市天龍峡温泉交流館）	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第114号	工事請負契約の一部変更について（交通安全対策事業道路改良工事）	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第115号	工事請負契約の締結について（土木施設補助災害復旧事業道路災害復旧工事）	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第116号	工事請負契約の締結について（土木施設補助災害復旧事業道路災害復旧工事）	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第117号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市松尾天竜グラウンド）	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第118号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市地域人形劇センター）	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第119号	令和5年度飯田市一般会計補正予算（第6号）案	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第120号	令和5年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第121号	令和5年度飯田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第122号	令和5年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第2号）案	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第123号	令和5年度飯田市地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）案	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第124号	令和5年度飯田市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）案	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第125号	令和5年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第2号）案	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第126号	令和5年度飯田市病院事業会計補正予算（第1号）案	5. 11. 24	5. 12. 20	可決
議案第127号	令和5年度飯田市水道事業会計補正予算（第3号）案	5. 11. 24	5. 12. 20	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第128号	令和5年度飯田市下水道事業会計補正予算（第1号）案	5.11.24	5.12.20	可決
議案第129号	南信州広域連合が処理する事務の変更及び南信州広域連合規約の変更について	5.11.24	5.12.20	可決
議案第130号	令和5年度飯田市一般会計補正予算（第7号）案	5.11.24	5.12.20	可決
議案第131号	飯田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	5.12.8	5.12.20	可決
議案第132号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市健康増進施設）	5.12.8	5.12.20	可決
議案第133号	令和5年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案	5.12.8	5.12.20	可決

② 議会提出議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
発議第1号	県施設の整理統合が続く中で、地域の振興に資する施設整備を求める意見書の提出について	5.12.20	5.12.20	可決
発委第1号	飯田市議会個人情報の保護に関する条例の制定について	5.3.20	5.3.20	可決
発委第2号	飯田市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	5.3.20	5.3.20	可決
発委第3号	飯田市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	5.3.20	5.3.20	可決
発委第4号	さらなる少人数学級推進と教育予算の増額及び義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出について	5.6.26	5.6.26	可決
発委第5号	へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準とすることを求める意見書の提出について	5.6.26	5.6.26	可決
発委第6号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	5.9.25	5.9.25	可決

③ 報告議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
報告第1号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	5.2.22		
報告第2号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	5.2.22		
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて（飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について）	5.5.9	5.5.9	承認
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて（飯田市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について）	5.5.9	5.5.9	承認
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度飯田市一般会計補正予算（第10号））	5.5.9	5.5.9	承認
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度飯田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号））	5.5.9	5.5.9	承認
報告第7号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度飯田市病院事業会計補正予算（第3号））	5.5.9	5.5.9	承認
報告第8号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	5.5.9		
報告第9号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	5.5.30		
報告第10号	飯田市国民保護計画の変更について	5.5.30		
報告第11号	権利の放棄について（病院料金に係る債権）	5.5.30		
報告第12号	権利の放棄について（水道料金に係る債権）	5.5.30		
報告第13号	令和4年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	5.5.30		
報告第14号	令和4年度飯田市病院事業会計予算繰越計算書の報告について	5.5.30		
報告第15号	令和4年度飯田市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	5.5.30		

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
報告第16号	令和4年度飯田市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	5.5.30		
報告第17号	飯田市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	5.5.30		
報告第18号	株式会社飯田健康温泉の経営状況を説明する書類の提出について	5.5.30		
報告第19号	一般財団法人飯田勤労者共済会の経営状況を説明する書類の提出について	5.5.30		
報告第20号	飯田清掃株式会社の経営状況を説明する書類の提出について	5.5.30		
報告第21号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	5.8.30		
報告第22号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	5.8.30		
報告第23号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	5.11.24		
報告第24号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	5.11.24		
報告第25号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	5.11.24		

(2) 議会において執行した選挙・選任等

(令和5年1月から令和5年12月まで)

会 期	年月日	選挙・選任の内容
第1回定例会	R5. 2. 22	・ 監査委員の選任
		・ 固定資産評価審査委員会の委員の選任
		・ 人権擁護委員の候補者の推薦
		・ 飯田市南部財産区管理委員の選任
		・ 飯田市中心部財産区管理委員の選任
		・ 飯田市長野原財産区管理委員の選任
		・ 飯田市上川路財産区管理委員の選任
第1回臨時会	R5. 5. 9	・ 飯田市山本区財産区管理委員の選任
		・ 飯田市松尾地区財産区管理委員の選任
		・ 飯田市駄科財産区管理委員の選任
第2回定例会	R5. 5. 30	・ 農業委員会の委員の任命
第3回定例会	R5. 8. 30	・ 教育委員会の委員の任命
第4回定例会	R5. 11. 24	・ 固定資産評価審査委員会の委員の選任
		・ 飯田市千代財産区管理委員の選任

(3) 委員会活動開催状況

(令和5年1月から令和5年12月まで)

	常任委員会							特別委員会	議会運営委員会	議会改革推進会議	広報広聴委員会	全員協議会
	総務委員会	社会文教委員会	産業建設委員会	予算決算委員会				リニア推進特別委員会				
				全体会	総務分科会	社会文教分科会	産業建設分科会					
委員会	9	8	11	14	10	12	11	8	22	13	13	-
協議会	10	13	15	-	-	-	-	-	-	-	-	12
計	19	21	26	14	10	12	11	8	22	13	13	12

(4)請願陳情

①請願議決結果一覧表

所管	受理番号	要旨	上 程 年 月 日	議 決 年 月 日	議 決 結 果
総務	4請願 第4号	国に対し、再審制度の速やかな改正を求める意見書を提出願いたい	4. 11. 22	5. 3. 20	趣旨採択
社文	5請願 第1号	国に対し、「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」及び「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書を提出願いたい	5. 5. 30	5. 6. 26	採択
社文	5請願 第2号	県に対し、「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準とすること」を求める意見書を提出願いたい	5. 5. 30	5. 6. 26	採択
総務	5請願 第3号	国に対し、地方公共団体の財政需要を的確に把握し、これに必要な地方交付税等の一般財源総額を確保すること等を求める意見書を提出願いたい	5. 8. 30	5. 9. 25	採択

②陳情議決結果一覧表

所管	受理番号	要旨	上 程 年 月 日	議 決 年 月 日	議 決 結 果
委員会付託なし	5陳情 第1号	地方創生臨時交付金を活用し、L P ガス料金上昇に対する直接的な負担軽減対策を求めたい			審議なし
委員会付託なし	5陳情 第2号	国に対し、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める意見書を提出願いたい			審議なし
産建	5陳情 第3号	国に対し、最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書を提出願いたい	5. 2. 22	5. 3. 20	不採択
委員会付託なし	5陳情 第4号	国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める意見書を提出願いたい			審議なし
社文	5陳情 第5号	飯田市立病院の基本理念「私たちは、地域の皆さんの健康を支え、信頼される医療を実践します」に基づき、また基本方針にある「安全・安心で良好な医療を提供します」に従い、安全安心で信頼される病院の運営を願う	5. 8. 30	5. 12. 20	趣旨採択
社文	5陳情 第6号	国に対し、「健康保険証」の廃止は行わず存続を求める意見書を提出願いたい	5. 8. 30	5. 9. 25	不採択
委員会付託なし	5陳情 第7号	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書を提出願いたい			審議なし

(5) 定例会の質問事項
① 令和5年飯田市議会第1回定例会一般質問通告表

令和5年3月9日、10日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	古 川 仁 (日 本 共 産 党)	1 市の生活困窮者への対策について (1) 住む所を失った方への緊急的な対策について ① 行政の対応は ② 空いている市営住宅利用の考えは ③ 緊急的な住宅支援が求められるが市の考えは 2 市指定のごみ袋について (1) 今後のごみ袋の在り方について ① 若年層への支援の考えは ② ごみ袋料金設定の考えは
2	岡 田 倫 英 (会 派 き ぼ う)	1 公共施設の老朽化について (1) 水道施設について ① 水道料金改定に係る市民の声をどう受け止めているか ② 市民との対話を一層丁寧を重ねていく必要があるのではないかと (2) 将来に向けた資産価値、市民サービスをどのように考えていくか ① 旧飯田市公民館を含む中央公園一帯はどうか ② 大平宿の展望はどうか 2 家庭教育支援の施策推進について (1) 議会が行った政策提案「子どもを見守り育む地域社会について」をどう受け止めたか (2) 市の施策展開は課題解決の方策として国の方針と合っているか (3) 今後想定される「こども計画」策定時に家庭教育支援施策を重点的に取り入れる考えはどうか
3	市 瀬 芳 明 (日 本 共 産 党)	1 ICT教育への取り組みと教育費について (1) ICT教育の環境について ① 国の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」への進捗は ア 市の進捗状況は イ タブレット端末の更新の見通しは ウ 飯田市ICT教育情報サイトの運用状況は ② 学級閉鎖時等の活用について ア オンライン授業の組み立ては イ その他タブレット端末の有効活用は ③ 教育現場の状況について ア ICT支援員の配置状況は (2) 教育費について ① 奨学金への考え方は ア 飯田市奨学金貸与への考え方は イ 日本学生支援機構の奨学金に対する支援の考えは ② 通学補助の拡大の考えは ③ 学校給食費への支援は
4	福 澤 克 憲 (会 派 き ぼ う)	1 国の地方財政計画、市の長期財政見通しから見た令和5年度予算の考え方について (1) 国の地方財政計画から見た飯田市予算の考え方は (2) 令和5年度予算編成からの長期財政見通しの修正の考え方は (3) 財政運営目標の指標となっている実質公債費比率の見込みは(令和4・5年度(単年度)) (4) 今後の方向性は 2 働くことを軸とする安心社会の実現に向けて (1) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	福 澤 克 憲	① 事業所訪問や実践型セミナー、個別相談、複数の事業所が合同して行う女性のキャリア教育等の取組状況は ② ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度の導入は考えられないか ③ 飯田市の契約「総合評価落札方式」について、労働賃金の適正な支払いやワーク・ライフ・バランスの取り組み、女性の働きやすい環境づくりに関する企業認証取得状況等も評価算定基準にすることはできないか ④ 電子契約システムの導入時期は (2) 国の総合経済対策を受けての飯田市の考え方について ① 物価高騰・賃上げへの考え方は ② 円安を活かした地域の「稼ぐ力」の回復・強化の考え方は ③ 「新しい資本主義」への考え方は ④ 飯田市としての方向性は
5	小 林 真 一 (公 明 党)	1 今後さらに進むであろう高齢化社会における課題について (1) 高齢化に伴うごみ出しの課題について ① ごみ集積所の新設は ア 集積所を新設する場合の基準は イ 新設するための基準についての課題認識は ② ごみ出しできない市民への対応は ア 実施している具体的な内容は イ ごみ出しの対応における課題は ③ 「生活支援サービス提供団体等への支援」の考え方、また思いは (2) ごみ収集運搬業務の委託状況について ① 収集委託料についての考え方は ② 委託業者との意見交換などの取り組みは (3) 在宅介護者支援事業について ① 事業の目的は ② 事業の利用状況、また過去の予算執行残は ③ 事業の目的に対し、市民の実態や要望に寄り添う対応は
6	永 井 一 英 (公 明 党)	1 多様な子ども・子育て家庭への支援について (1) 学校へ通えない子どもたちへの支援について ① 県教育委員会、文部科学省の調査結果はともに、「2021年度に不登校だった児童生徒は過去最多」と昨年秋に報道された。飯田市内の小・中学校において、不登校になっている児童生徒の現状は。また、考察 ② 不登校の児童生徒の居場所として、学校以外の選択肢は何があるか。飯田市内の現状は。また、他市の先進事例は ③ 2016年に「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」が成立した。飯田市教育委員会の認識と取り組みは ④ 飯田市内におけるフリースクールの現状は。また、飯田市の認識と支援の考え方は ⑤ 八王子市は、拠点校として、不登校特例校「高尾山学園」を設置し学校へ通えない子どもたちへの支援に取り組んでいる。飯田市教育委員会の認識は (2) 特別な教育的ニーズを必要とする子どもへの支援について ① 八王子市立高尾山学園への入学希望者は、校内の適応指導教室にまず入級し、審査を経て転入学する。また、学園内に特別支援教室があり、必要な児童生徒に個別に支援をしている。飯田市の取り組みは ② インクルーシブ教育の推進について ア 飯田市教育委員会は、本年度、国立特別支援教育総合研究所と連携しインクルーシブ教育の在り方について研究・実証していると聞く。現状と成果は
7	山 崎 昌 伸 (新 政 い い だ)	1 「子育て」を応援するまちづくりについて (1) 「子育て」と「子育て」という言い回しについての市の認識は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	山 崎 昌 伸	(2) 「地域の子どもは地域で育てる」ための今後の取り組みについて、どのように考えているか ① 「地域の子どもは地域で育てる」ためには、それに向けての市民の気運の醸成と行政からのメッセージが重要と考えるがどうか ② 具体的にどのように取り組むか 2 議会からの政策提言等の対応について (1) 2021(令和3)年3月に行った総務委員会からの提案についてどのように対応しているか ① 提案1の「好事例の横展開」、提案2の「成果や数値の見える化」について、どのように取り組んできたか ② 提案3の「大人も子どもも学びあう」について、提案後に新たに組み込んだことは何か ③ 提案4の「市民の誇りの醸成」について、具体的に組み込んだことは何か ④ (仮称)環境文化都市実現大会の定期開催を提案したが、どのように考えているか (2) 議会から執行機関側への、行政評価に基づく提言と委員会の所管事務調査に基づく提案について、どのように対応しているか
8	佐々木 博子 (会派 みらい)	1 ともに創る新しいまちの豊かさについて (1) 飯田市内の入浴施設について ① ほっ湯アップルの家庭風呂について ア 利用状況及び現状認識は イ 家庭風呂の料金は最適と考えるか ② 誰ひとり取り残さない共生社会に向けて、ユニバーサルな入浴施設の必要性は (2) 男女共同参画社会における消防団・消防団員の在り方について ① 家庭における男性の役割の変化と消防団活動をどう考えるか ② 地域防災における女性リーダーの可能性は (3) 若年層が「住みたい」と思うまちづくりについて ① 市の考える「若年層が住みたいまち」とは ② 「飯田らしさ」と「発展」のバランスをどう考えるか
9	小 平 彰 (新政 いいだ)	1 飯田市の人口増に向けた取り組みについて (1) 飯田市への移住施策について ① 空き家について ア 空き家の戸数は、また管理不全な空き家は何戸あるか イ 空き家率の推移はどのようにになっているか ウ 空き家バンクの活用、補助の実績はどうか ② 飯田市UJターンについて ア 職業紹介実績はどのようにになっているか イ 補助金の活用状況はどうか ウ 他の自治体と差別化した施策はあるか (2) 飯田市への交流人口・関係人口について ① 交流人口の状況はどのようにになっているか ② 交流人口・関係人口の創出をどのように考えるか ア 魅力ある場所をどのように考えているか イ 飯田市に訪問してもらうためにどのような情報発信をしているか ウ 飯田市の施策は移住者のニーズを捉えたものになっているか
10	木 下 徳 康 (新政 いいだ)	1 「大学のあるまちづくり」について (1) 信州大学新学部誘致について現状は (2) 研究者や学生が学びたいと思えるまちとは (3) 学生にとって企業の魅力を高めていく必要があると思うがどうか (4) 政府の「都内大学定員増の容認」の方針について ① この方針をどう捉えたか ② 地方大学である信州大学の新学部設立への影響をどう捉えるか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木 下 徳 康	2 新型コロナウイルス感染症の今後について (1) 現状と5類移行に備えるべきことは (2) 市として検証し、後世に伝えるべきと考えるがどうか ① 残すべき行政の資料とはどのようなものが考えられるか ② 行政としての資料や市民の罹患や活動自粛などの体験等も含めた記録を冊子にまとめてはどうか (3) ワクチン接種の情報の保存期間5年は短くないか
11	関 島 百 合 (会 派 み ら い)	1 水道料金の改定について (1) 料金改定と市民生活への影響について ① 値上げをしなければいけない理由は ② 今日に至るまで料金改定をしなかった理由と諮問の内容は ③ 値上げ対象は飯田市全域にわたるか ④ 下水道使用料も値上げを行うか ⑤ 上下水道の今後の経営見通しは ⑥ 市民生活への影響をどのように考えているか 2 子育て支援について (1) 保育園で発生したオムツについて ① 持ち帰りを廃止して保育園で処分する動きがあるが、市の現状は ② 持ち帰りとは保育園での処分のそれぞれのメリットとデメリットは ③ 市の今後の方針は 3 ゲノム編集された農産物について (1) 市の考えは (2) 市が独自に進めている認証制度との関係性をどうとらえるか (3) ゲノム編集されたトマトの苗が小学校や福祉施設へ無償で配布されることについて、打診があった際の市の対応は
12	竹 村 圭 史 (会 派 き ぼ う)	1 新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う5月8日以降の診療体制について (1) 新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類は5類への移行が決定されたが、今後の感染予想をどのように分析しているか (2) 飯田市立病院の現在の診療体制は (3) 5類移行後の診療体制について ① 国の方針は ② 国の方針に対する飯田市立病院としての考え方は (4) この地域の診療体制の確保について 2 飯田市立動物園の所管の考え方について (1) 飯田市立動物園の設置目的は (2) 飯田市として飯田市立動物園の所管についてどのように考えているか (3) 「賑わいのあるまちづくり」に向けて ① まちなか回遊の果たすべき役割は ② まちなか回遊における飯田市立動物園の果たすべき役割は ③ まちなか回遊を進めるにあたり、戦略バスケットは本来の機能を十分発揮できているか (4) 飯田市立動物園に求められる役割は (5) 今後の所管の考え方について ① 飯田市立動物園の求められる役割をみたときに、所管替えの検討を考える必要があると思うが、市長の考えは

② 令和5年飯田市議会第2回定例会一般質問通告表

令和5年6月12日、13日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	福 澤 克 憲 (会 派 き ぼ う)	1 災害に備えた防災・減災対策の考え方について (1) 天竜川の状況について ① 治水対策事業を行った天竜川上流部川路・龍江地区の土砂堆積の状況は ② 天竜川のしゅんせつの状況は ③ 防災ハザードマップの浸水区域作成時の河床状況と降雨条件の関係は (2) 地域における防災訓練の実施状況は (3) 避難所指定されている学校施設の活用への考え方は (4) 学校安全総合支援事業の活用への考えは (5) 避難所のトイレ対策について ① 指定避難所の屋外トイレの改修状況は ② 災害配慮トイレの考え方は (6) 甚大な被害を想定した被災後の市役所体制について ① さまざまな相談に対する対応は ② 被害認定調査の対応は ③ り災証明書の発行の流れは ④ 「被災者支援システム」の構築に向けた検討は (7) 今後の方向性は
2	宮 脇 邦 彦 (公 明 党)	1 人口減少社会を踏まえた地域活性化への取り組みについて (1) 研究を進めている地域通貨の活用について ① 地域通貨を市民への直接支援に結び付けるには ア 地域通貨の特徴とは イ 地域通貨は生き残り難いと言われているがどう捉えるか ウ 周辺地域との関係性はどうか エ 導入時期をどうか、その分析は オ どのようなツール(種類及び道具)を使うのか ② 先進地事例に見る地域のまちづくりへの活用は ア 地域自治活動等における市民参加のツールとする試みは イ 関係人口増加へ活かす考え方は ③ 地域通貨の実現に向けた市長の課題認識は ア 現状の研究から見える課題と今後の進め方は 2 健康寿命の延伸について (1) 带状疱疹を未然に防ぐためには ① 带状疱疹とはどのような病気か ② 带状疱疹ワクチンの効果は ③ 带状疱疹ワクチンの周知方法は ④ 带状疱疹ワクチン接種の助成への考え方は ⑤ 市長として、带状疱疹ワクチン助成をどう進めるか
3	橋 爪 重 人 (新 政 い い だ)	1 農地法、下限面積廃止について (1) 下限面積の内容と廃止をどう捉えているか ① 廃止となった背景とこれまでの取り組みと今後の取り組みはどのように変わるか ア 下限面積のできた背景と、市の改正以前の取り組み内容はどうであったか イ なぜ廃止となったか、その背景には何があるか ウ 廃止により改正された事務条件はあるか エ 現在取り組んでいる「人・農地プラン」との関わりはどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	橋 爪 重 人	オ 廃止後2カ月間での相談事例や、市の取り組み方はどう変化したか 2 D-51型蒸気機関車の展示について (1) 飯田市としてどうしていくか ① 現在有効活用されていない状態をどう思うか ② 今後どうしていくか
4	岡 田 倫 英 (会 派 き ぼ う)	1 中学校部活動の地域移行について (1) 国のガイドラインが示されて半年経つが、飯田市教育委員会はどう検討してきたか ① 地域移行の目的は明確にされてきているか ② 生徒と保護者、学校、スポーツ・文化芸術関係者との認識共有はどう (2) 運動が苦手、習いごとがあつて忙しいといった生徒をどう受け止めていくか (3) トップクラスを目指す環境はどのようになっていくか (4) 「ジブン・チャレンジ」などこれまでの活動を生かし、飯田市に合った仕組みを構築していく考えはどうか 2 飯田市立動物園の環境整備について (1) 開園70周年の節目を機に重要な施設だと再認識されてきているが、施設・設備の老朽化に対する市民の反響はどうか (2) 環境整備を進める上でふるさと納税、クラウドファンディングなどの財源確保策は検討してきたか (3) 休日の駐車場不足が課題だと捉えるが、どう対応していくか
5	市 瀬 芳 明 (日 本 共 産 党)	1 市民総健康を目指す取り組みについて (1) 市民の意識に関する基礎世論調査結果をどう活かしていくか ① 健康に関して「どちらかといえば健康」という回答が多いが、心・身の健康の考え方は (2) 出前健康講座の利用状況について ① 企業を対象としているが活用方法をどのように考えるか ② 対象者が受講してから意識の変化は (3) 健康寿命の延伸をどう考えるか ① 介護予防について ア 健康ポイントの周知は イ 事業展開は ② 若年層からの健康づくりの考えは ア 自転車による健康づくりの推進は イ ランニングコース等の整備の考えは 2 マイナンバーカードについて (1) 現在の飯田市の状況はどうなっているか ① 現在の交付率は ② 取得に関する手続きは (2) 個人情報保護をどのように考えるか ① 飯田市としての取り組みはあるか ② 今後の注意点は
6	永 井 一 英 (公 明 党)	1 「こども政策」の新たな展開について (1) 子ども・子育て施策に関する経緯と、国が進めようとしている「こども政策」の新たな展開の背景と目的は。また、「こども政策」の考え方と概要は (2) 飯田市が今まで行ってきた取り組みや体制に変更はあるか。また、新たに取り組むことはあるか 2 子どもの医療費について (1) 現物給付を進めてきた経緯があるが、現在、子どもが医療機関を受診又は入院した場合に、窓口での医療費の支払いはどうなっているか (2) 国の国民健康保険国庫負担金等の減額調整措置について ① 医療費に占める公費の割合と減額調整措置の対象となる公費は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	永 井 一 英	② 飯田市における減額調整額は (3) 受給者負担について ① 飯田市在住の子どもに係る受給者負担金は、レセプトごとに現在500円となっている。500円を飯田市が全額負担した場合、財政負担はどのくらいか。またその場合、国・県などから補助はあるか ② 下伊那郡内の町村在住の子どもに係る受給者負担金は、飯田市と同じか (4) 子どもの医療費を現物給付とし、かつ、受給者負担も求めないとした場合について ① 課題は何か ② 子どもの医療費に対して行政が助成することについて、市長はどう考えるか
7	西 森 六 三 (会 派 き ぼ う)	1 公共施設マネジメントの現状と課題について (1) 2020年から2029年までの10年間で進められている公共施設マネジメントの第2段階の進捗状況は (2) 公共施設(建物)に関する各地区での検討について ① これまでの各地区での検討における顕在化した課題や主な意見は ② 地域住民や関係団体と「目的別検討会議」及び「地域別検討会議」を行い地域の問題解決を図るとあるが、その実践例は (3) 事後保全型施設について ① 事後保全型に区分された施設の措置は ② 取り壊しが決定しても措置されない施設が見受けられるが、優先順をどう考えるか (4) 指定管理料の考え方は (5) 公共施設に関する市民の理解をどのように進めていくか 2 自転車に関する事業の現状と課題について (1) 環境や観光など様々な視点があるなかで、これからどの分野を重点施策として取り組んでいくか (2) 自転車ツーリングの受け入れ態勢の現状について ① 電車による移動の現状と課題は ② 自転車で直接乗り入れが困難な路線(道路不通区間)への認識は (3) 自転車によるイベントの経済効果について ① 地域の経済波及につながる取り組みの考えは
8	筒 井 誠 逸 (新 政 い い だ)	1 土地の有効利用の促進について (1) 農地の利用の現状と将来はどうか ① 現状の飯田市の農地面積と遊休農地の割合は ② 現在の就農人口の4割が75歳以上と聞いているが、10年後の予想遊休農地の割合は ③ 国土利用計画法第8条に規定される第3次飯田市計画と飯田農業振興地域整備計画について ア 農地中間管理機構とはどんな組織か。又、飯田市での活用状況と具体的な例は イ 農地集約の現況はどの位進んでいるか ウ 第3次飯田市計画による土地情報システムの確立はできたか。又、実際の検索方法は ④ 人・農地プランに変わる「地域計画」(目標地図)の策定状況はどうか ア 工程表では今年3月までとなっているが進捗状況は イ 今後の予定は ウ 策定にあたっては、様々な立場の人の視点も入れた方が良いと思うがどうか 2 農地転用について (1) 飯田市で農地転用が難しいのはなぜか ① 飯田市と高森町の農地転用の違いは ア なぜ飯田市は転用が難しいか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	筒 井 誠 逸	イ 市長としての見解は ② 市のリニアビジョンにおける三重心の1つの「交流重心」の中の「研究開発型企業・機関」の誘致の進め方は
9	小 林 真 一 (公 明 党)	1 観光振興について (1) 丘の上をドライブインとした取り組みについて ① 現状と課題は ア 観光客の反応はどうか イ 観光客を受け入れる事業者の反応はどうか ウ 想定していたドライブインとしての機能は十分果たしているか ② 現状は団体客の受け入れが主体であると認識するが、個人客への対応も必要と考えるがどうか (2) サステナブルツーリズムについて ① グリーンツーリズム、エコツーリズムとの違い、また関係性や関連性は ② 飯田市の考え方と今後の取り組みと進め方は ③ サステナブルツーリズムの考え方とリニアデザインノートにおける「人のつながりと伊那谷全域へといざなう駅前空間」は親和性が高いと考えるが、今後の取り組みは ④ サステナブルツーリズムの視点から、本物体験やインバウンドへの対応として、エアビーアンドビー・ジャパンとの連携協定が今後更に重要になると考えるが、取り組みの現状は ⑤ サステナブルツーリズムの視点から、周遊滞在型観光の考え方と南信州圏域との連携などの広域的な視点をどう考えるか ア 周遊滞在型観光の考え方として広域的な視点は持っているか イ 周遊ポイントを絞った取り組みとして、サイクルツーリズムがサステナブルツーリズム、またエコツーリズムに有効と考えるが取り組みは ウ 原風景を活用した広域的な周遊観光の視点としてオートバイによる観光が有効と考えるがどうか (3) 観光振興における行政の関わり方としてさまざまなケースが考えられるが、取り組みの方向性は ① 飯田市が財政投入、出資している団体との関わりは ② 民間事業者との関わりは ③ 観光資源を活用しようとする地域自治組織との関わりは ④ 観光による地域活性化のための支援をどう考えるか
10	下 平 恒 男 (新 政 い い だ)	1 これからの地域コミュニティのあり方について (1) まちづくり組織の現状について ① 現在の課題と今後の方向性は ② 役員の負担軽減に向けた取り組みの状況は (2) 住民全員で組織する地域コミュニティについて ① 組合未加入者の状況について ア 飯田市全体と各地区の組合加入状況は イ 未加入者への飯田市としての対応は ウ 未加入者の地域活動への参加状況は ② 未加入者も含めた組織再編は可能であるか 2 建設部関連の地元要望への対応について (1) 改良・補修箇所等報告書の扱いについて ① 要望取りまとめの時期と方法は ② 直近数年の要望数と対応状況は ③ データ提出による手法に変更可能であるか
11	木 下 徳 康 (新 政 い い だ)	1 給食費集金の公会計制度への移行について (1) 現行の私会計における教職員の負担は (2) 他市の公会計移行の状況と飯田市の取り組み状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木 下 徳 康	(3) 給食費の無償化を導入している自治体があるが、市はどう捉えているか 2 小中学校義務教育期間の学校教育費等について (1) 学校教育費等の保護者負担や補助の現状は (2) 地域で子どもを育てるという観点や若者定住の観点から、今後の学校教育費等の負担の考えは 3 フレイル予防について (1) 前社会文教委員会の政策提案で、「ポイント制度」や「施策効果の検証」などを提案したが、現時点での取り組み、捉え方の状況は (2) 今後の取り組みは ① 社会的フレイルの予防、克服することは地域コミュニティの醸成にとっても重要と考えるがどうか ② ポイント制度のデジタル化への準備の考え方は
12	関 島 百 合 (会 派 み ら い)	1 地域の自治とコミュニティについて (1) まちづくり委員会の現状について ① 組合への加入状況と地域別の傾向は ② 役員選出の課題をどう捉えているか (2) 地域コミュニティへの認識について ① 高齢者クラブや婦人会、赤十字奉仕団など既存団体の現状と課題をどう捉えるか ② 既存団体の歴史を残していくことについてどう考えるか ③ 地縁でない新しいコミュニティをどう捉えるか (3) まちづくり委員会をはじめとする各種団体の負担軽減や担い手育成は 2 風越公園について (1) 県からどのように移管されているか (2) 風越公園の都市計画変更の手続きはどのようになっているか (3) 役割は (4) 公園の再整備は
13	清 水 優 一 郎 (新 政 い い だ)	1 人口減少時代にあっても「くらし豊かに住み続けられる飯田」にするためには (1) 人口減少社会にどのように対応していくか ① 飯田市人口ビジョンの状況は ② 人口減少、少子高齢化がもたらす地域社会への影響や問題をどのように解決に導いていくか (2) 少子化における子どもの学校教育環境について ① 「これからの学校のあり方審議会」の設置目的と審議状況は ② 保護者アンケートの結果とその捉えは ③ 複式学級の長所と短所は ④ 各地区の出生数を把握し、今後の児童生徒数の予測は立てられているか ⑤ 子どもの教育環境の充実のため、保護者を中心とした学校区ごとのあり方の検討が必要ではないか
14	小 平 彰 (新 政 い い だ)	1 飯田市の子育て環境・教育について (1) 未就学児について ① 保育所等利用希望者が希望の園に行けているか ② 保育所等の配置はどのように考えていくか。また、保育施設長寿化計画はどう進めるか ③ 保護者との通常と緊急時の連絡体制はどのようにしているか (2) 小・中学生について ① ICTを活用した授業について ア 授業への活用状況はどうか。また、どのような授業に活用しているか イ 効果はどのようなものがあるか ウ 教員の指導の仕方にどのような変化があったか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 平 彰	② 中学生の部活動地域移行について ア 国のガイドラインの「移行に向けた環境整備」に市はどのように取り組むか イ 地域移行後の運営主体はどうなるか。また、保護者の負担はどうなるか (3) 子育て支援について ① 飯田市の放課後児童クラブは足りているか。また、稼働率はどうか ② 不登校児童生徒への支援について、中間教室、びーいんぐ及び民間のフリースクールの活用をどう考えるか
15	古 川 仁 (日 本 共 産 党)	1 市による交通弱者への支援について (1) 高齢者で免許を自主的に返納された方等への支援について ① 令和3年第4回定例会における代表質問への答弁で乗り合いタクシーに関して「運行エリア拡大も含め検討する」とあったが進捗状況は ② 市長公約で「移動に困難を伴う方を地域で助け合う仕組みを充実」とあるが具体的には ③ 行政として交通弱者への支援をどう考えるか 2 古布・古着の回収・活用について (1) 古布・古着の回収・活用について「前向きに受け止める」とあったが進捗状況 ① 今後の計画は
16	山 崎 昌 伸 (新 政 い い だ)	1 宝島社の『『住みたい田舎ベストランキング』5万人以上10万人未満のまち』総合部門第1位を、今後のまちづくりにどう活かすか (1) 今年1月に発表になった宝島社のランキングと、4月に新聞報道されたSMOUT(カヤック社の運営する移住に関心のある人と地域とを結ぶ仲介サイト)で、2022年度の人気移住地域は、伊那市が1位で飯田市は10位)の結果についてどう捉えているか ① 宝島社のランキングとSMOUTのランキングでは評価の仕方も数値の扱い方も異なるが、移住に関心のある人の意識がより反映されているのはSMOUTの方と捉えてよいか ② 報道では2022年度の伊那市への移住者が2年連続で最多となり、社会動態も転入超過になったとされている。この状況はSMOUTの結果と無関係ではないと考えられるが、どう捉えているか ③ SMOUTの結果についてどのように分析しているか (2) SMOUTで伊那市が1位となった結果について「環境や社会に配慮した消費行動など『エシカル(倫理的)な生活』に関心がある20～30代の支持を集めた。」とされている。とすれば、今後更に環境文化都市の構築に力を注ぐ必要があるのでは ① SMOUTの結果からは、移住促進には環境への取り組みが重要と考えられるが、環境文化都市を標榜する飯田市としてどう捉えているか ② 環境文化都市のひとつのあり方として、移住に関心のある人に環境面で訴えかけるにはどうすべきかを意識した取り組みが必要ではないか ③ エシカル(倫理的、環境保全や社会貢献)に対する市民の理解を広げて、日常的にエシカル消費(環境や社会問題の解決に貢献できる商品を購入し、そうでない商品は購入しないという消費行動)が行われるまちづくりに積極的に取り組むべきではないか

③ 令和5年飯田市議会第3回定例会一般質問通告表

令和5年9月14日、15日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	小 平 彰 (新 政 い い だ)	1 飯田市立病院の医療対応について (1) 外来・入院患者の状況について ① コロナ前とコロナ後で比較し、年間の外来、入院患者数はどうか ② コロナ患者の状況はどうか ③ コロナ患者以外の一般外来の対応はどうだったか (2) 診療及び看護体制について ① コロナ感染流行期を通して医師また看護師の増減はどうだったか ② 診療看護師は何名いるか。また男性看護師の割合はどうなっているか ③ 医師・看護師の不足はないか (3) 市民から頼られる病院として病院機能評価はどうか 2 飯田市の情報発信や情報提供について (1) 飯田市公式LINE「通報システム」について ① 登録者数は何人で情報数はどのくらいあったか ② 通報により効果はどのような状態か (2) 飯田市からの情報発信について ① どのようなものがあるか ② 個人からの飯田市の情報発信を増やしていく考えはないか
2	宮 脇 邦 彦 (公 明 党)	1 子どもまんなか社会への取り組みについて (1) 子どもの放課後の居場所づくりについて ① 放課後の居場所は、どうあると良いか ア 子どもの居場所はどうあるべきか、その認識は イ 児童クラブ等への待機児童の有無は ② 児童館、児童クラブ、児童センターについて ア 各施設の違いと、児童支援員及び補助員の職務の違いはあるか イ 児童クラブ等への入所児童の推移と今後の需要予測は ③ インクルーシブな児童クラブ等への取り組みについて ア 現状、職員の配置人数は足りているか。スクールソーシャルワーカー等の採用検討は イ 職員の力量向上への取り組みは ④ 施設の修繕について ア 運動エリアの暑さ対策と学習環境の整備は イ トイレの設置基準と今後の方向性は(洋式化、設置数の見直し等) ウ 修繕要望の進捗率と予算確保への取り組みは ⑤ 児童クラブ等での事務処理へDX活用の方角性は ⑥ 小学校と児童クラブ等との連携はどうあるべきか ⑦ 児童クラブ等の受入れ年齢をどう考察し、インクルーシブな児童クラブ等へどう進めるか
3	井 坪 隆 (会 派 み ら い)	1 市長の市政経営について (1) 「2050年、日本一住みたいまち」になるために、最優先として捉える政策は何か 2 報道に見る市長の発言について (1) 信州大学の新学部設置見送りは、“想定内”か (2) リニア時代のまちづくりに「街を二つつくらない」と示していたが、土地利用計画の見直しにあたっては“かつての認識”か (3) 新飯田文化会館の現地改築は、“優先度は高くない”か

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
4	筒 井 誠 逸 (新 政 い い だ)	1 大学誘致について (1) 信大新学部誘致の現況は ① 情報系学部の新設構想が無くなった点について ア 市としてどう受けとめているか イ 今までの誘致活動で反省すべき点はあるか ② 今後の誘致をどうするか ア 方向性をどう考えているか イ 新学部誘致推進協議会の組織をどうするか ウ 市民として協力できる事はあるか 2 小・中学校の給食費について (1) 公会計化について ① 導入に向けた工程表は出来ているか ア 体制整備に必要な経費は イ DXを活用した公会計化や合理化は進めているか (2) 無償化について ① 令和4年度の対象児童・生徒数と食材にかかった金額は ② 保護者の年間負担額は(生徒1人当たりの額) ③ 教職員の負担額は ④ 無償化について市の考え方は ⑤ 今後の予定は
5	木 下 徳 康 (新 政 い い だ)	1 フレイル予防について (1) 前社会文教委員会からの政策提案について、現時点での取り組み、捉え方の状況は ① 「フレイルという言葉と概念の周知」はどうか ② 「フレイル予防の方法」、「ポイント制度」は ア 教室等による予防やポイント付与の現状は イ サポーターの活動は ウ 予防のメニューはどのようなものがあるか エ ポイントのデジタル化は ③ 「施策効果の検証」は (2) 今後の取り組みは ① 社会的フレイルを予防、克服することは地域コミュニティの醸成にとっても重要と考えるがどうか ② 予防システムのデジタル化への準備や考え方は 2 デジタル化と地域通貨について (1) デジタル化する意味は ① 庁内の仕事の効率化に加え、市民の利便性向上もあると思うがどうか ② アナログとデジタルを併用することを効率の点からどう考えるか ③ デジタル化は市民の楽しさに貢献できるか (2) 地域通貨の検討状況は
6	市 瀬 芳 明 (日 本 共 産 党)	1 環境文化都市としての取り組みについて (1) GX(グリーントランスフォーメーション)に向けた取り組みは ① 現在の庁内における取り組みは ア 最新の二酸化炭素(温室効果ガス)の排出量は イ 総量の目標値と基準年度からの削減率は ウ 節電の取り組みは エ 木質バイオマスの導入状況は オ 電気自動車を導入してのメリットとデメリットは ② 再生可能エネルギーについて

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	市 瀬 芳 明	ア 市内にある再生可能エネルギー発電施設の設置状況は イ 発電施設の活用についてどのように考えるか ウ GXを推進する上で現状の取り組みを十分と考えるか ③ 市長が考えるGXとは ④ GXでどのようなまちづくりを目指すか 2 マイナンバーカードについて (1) 飯田市の現状はどうか ① 医療機関等での不具合は無いのか ② 国では登録情報の確認を個人で行うよう告知しているが、個別の相談はあるか ③ 個別データの精査における事務量増が負担にならないか
7	福 澤 克 憲 (会 派 き ぼ う)	1 飯田市の空家等対策の考え方について (1) 管理不全な空き家の解消に向けて ① 「特定空家等」「準特定空家等」の認定、解消の状況は ② 「特定空家等」について、助言・指導、勧告、命令、代執行の状況は ③ 飯田市特定空家等解体補助金の交付状況は ④ 「特定空家等」「準特定空家等」について、緊急安全措置の実施、軽微な措置の命令、軽微な措置の代執行の状況は ⑤ 空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律の施行を見据えた今後の方向性は (2) 空き家の活用・流通の促進状況について ① 空き家バンクの活用状況は ② 空き家バンク関連補助制度(空家環境整備・空家改修・子育て世帯引越費用補助金)の活用状況は ③ 中心市街地、中山間地域における空き家の活用状況は ④ 今後の方向性は (3) 財政上・税制上の措置について ① 法第15条に示されている国県等の措置状況は ② 京都市が導入予定としている「非居住住宅利活用促進税」(法定外普通税)をどのように受け止めるか ③ 今後の方向性は
8	岡 田 倫 英 (会 派 き ぼ う)	1 大学誘致活動の今後について (1) 信州大学の情報系人材養成を焦点としてきた大学誘致活動が仕切り直しとなったが、誘致実現に向ける熱意はどうか ① GX(グリーントランスフォーメーション)が新たな最有力プランという認識か ② 信州大学、長野県との協議はどのような状況か (2) 市民の意識が低下しないよう、ロードマップと進捗状況を示していく必要があると考えるがどうか 2 デジタル化の推進について (1) 急速に台頭してきた生成AIについて ① 小中学校ではどのような指導をしてきたか ② 庁内ではどのように扱っているか (2) 庁内DXについて ① 市のホームページは市民が情報を入手しやすい検索システムになっているか ② 職員の業務負担を軽減する効果は出ているか (3) 地域課題解決へのDX活用について ① 飯田市のDX推進方針は行政事務の表題となっているが、地域課題解決にDXを活用していく考えはあるか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
9	橋 爪 重 人 (新 政 い い だ)	1 農産物のブランド化について (1) 現状と課題について ① 地域ブランドの取り組みは怎么样了か ア ブランド化の現状は イ ブランド化につなげるための課題は何か (2) ブランド化に必要な要件について ① 地域性と生産量について ア ブランド化をするためには地域と何らかの関連性(自然、歴史、風土、文化的要件)を有する特定の商品生産が必要だと思ふがどうか イ 生産量の確保、価値の見える化についてはどうか ウ 市内各地で特色ある農産物の生産に取り組んでおり、PR活動は特に重要と考えるがどうか (3) 地域に与える影響について ① ブランド化の効果について ア 農産物のブランド化により価格の安定は元より、地域のまとまりや知名度の向上、観光客の増加、地域の活性化にもつながっていくと思ふがどうか (4) 今後の方向性について ① 継続・発展していく取り組み方は ア 農産物のブランド化を発展強化させていくためにどう考えているか
10	西 森 六 三 (会 派 き ぼ う)	1 災害に耐えうる強靱な主要道路整備の現状と計画について (1) 国道418号の現状と計画について ① 未改良区間(南信濃南和田名古山地籍)について ア 令和5年6月の豪雨災害において通行止めとなった場所であり、未改良区間でもある名古山地籍の通行の安全確保の現状と対策及び今後の改良計画は (2) 国道152号の現状及び計画について ① 三遠南信自動車道(現道活用区間)のうち、バイパス改良以外の区間について ア 令和2年7月の豪雨災害及び令和5年6月の豪雨災害において、通行止め及び片側交互通行となった場所とその期間は イ この区間における2車線化は済んでいるものの狭小区間(向万場黒川前間)の再改良が必要と考えるが、市の考えは ウ 災害時の物資運搬等の大事な道路であるこの区間を高速道路規格にする必要性を感じているが、市の考えは エ 現道区間は、河川と山腹に挟まれた構造となっている。護岸の安全確認と山腹の安全確認はどのように行っているのか。また、早期改良が必要とされる箇所は在るのか ② 未改良区間(上村程野から大鹿村区間)について ア 代替道路である市道上村4号蛇洞林道における治山工事の現状と市道の通行止め解消の目途は イ 上村程野矢筈トンネル分岐部より大鹿村への国道152号は車の通れる道への改良の必要性を感じるが、市の考えは (3) 県道251号上飯田線の現状と計画について ① 未改良区間(喬木村氏乗小川間)について ア 度々通行止めとなり、1車線で普通車のすれ違いにも苦慮する現状にある。飯田市民の利用度の高い路線のため早期改良が必要と思われるが、市の考えは 2 飯田市が関わる道路関連の促進期成同盟会の在り方について (1) 飯田下伊那広域の連携をより強くするための再編の進捗状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
11	佐々木 博子 (会派 みらい)	1 飯田市の子育て環境について (1) 保育士の労働環境をどう改善していくか (2) 子育て支援施設の充実について ① 飯田市こども発達センターひまわりの今後のあり方は ② 雨の日に子どもが遊べる施設の充実をどう考えるか 2 飯田市内の屋外広告物について (1) 現状認識は (2) 現行の制限において課題はあるか (3) 屋外広告物を活かした景観まちづくりについてどう考えるか (4) 屋外広告物行政を今後どう推進していくか 3 飯田らしい学びの場のデザインについて (1) 私立大学・高等専門学校の誘致についての考えは (2) 大学誘致・大学のあるまちづくりにリカレント教育の視点を取り入れていく可能性は (3) 学輪IIDAの今後の展開は
12	関 島 百 合 (会派 みらい)	1 ひきこもり、不登校に対する地域の取り組みについて (1) ひきこもり、不登校などの重層的支援に関する市の取り組みは (2) 松尾地区の取り組みは (3) フリースクールへの市の関わりは 2 「香害」をはじめとする化学物質過敏症について (1) 実態把握は ① 保育園等や小中学校ではどうか ② その他の公共施設ではどうか (2) 「香害」や化学物質過敏症に苦しむ市民への対策は (3) 「香害」や化学物質過敏症への理解促進に向けた啓発、情報発信などの取り組みは 3 「医療的ケア児」等について (1) 支援の課題と今後の見通しは ① 「医療的ケア児」等が利用できる施設は足りているか ② 高齢化する親への負担軽減は ③ 喫緊の課題と今後の見通しは
13	小 林 真 一 (公明党)	1 市長が考えるこれからのいいだ未来デザイン2028について (1) GX(グリーン・トランスフォーメーション)について ① 市長の考えるGXとは何か ② GXを進めるためのDX(デジタルトランスフォーメーション)の必要性をどう考えるか ③ GXにつながると思われる現状の主な取り組みは (2) 環境文化都市について ① 市における環境文化都市の位置づけ、また考え方は ② 市民目線で行動変容へつなげるには (3) グリーンリカバリーについて ① グリーンリカバリーの考え方は ② 第1次産業のうち、農業及び林業の現状と課題は (4) これからのいいだ未来デザイン2028とGXについて ① いいだ未来デザイン2028にGXを反映させる考えは
14	清 水 勇 (会派 きぼう)	1 飯田市教育委員会施設等総合管理計画について (1) 計画の背景・目的等について ① 計画の背景・目的・計画概要の内容は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	清水 勇	ア 飯田市は、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」をどのように生かし計画を策定したか イ 「第2次飯田市教育振興基本計画」はどのような計画か ウ 施設整備の基本的な方針は エ 「定期的な劣化状況調査」や「時代の変化に対応した施設環境の整備」、「法令等を踏まえた維持管理」の取り組みは (2) 学校施設の整備状況について ① 学校施設の目指すべき姿とは ア 学校施設の実態と老朽化の状況は イ 今後の施設整備の方針は ウ 時代の変化に対応した施設環境の整備の取り組み状況の現状は エ 令和3年から令和7年までの実施計画と取り組み状況は オ 遊具についての管理の考えは (3) 学校教育関連施設の目指すべき姿について ① 学校給食施設の今後の方向性は ア 施設の劣化状況は イ 時代の変化に対応した施設環境の整備状況は ウ 施設量の最適化に向けた取り組み状況は エ 令和3年から令和7年までの実施計画と取り組み状況は オ 丸山共同調理場の今後の考えは ② 教職員住宅の今後の方向性は ア 職員住宅の実態と入居状況は イ 維持管理費と家賃収入は ウ 施設数の最適化と点検・修繕の考えは エ 教職員住宅の他への活用の考えは (4) 社会教育関連施設の実態は ① 風越山麓研修センターについて ア 運営状況と活用状況は イ 施設の老朽化の現状と整備状況は ウ 今後利用者を増やす考えは エ 利用期間の変更の考えは オ 利用促進に向けた広報の在り方をどう考えるか

④-1 令和5年飯田市議会第4回定例会代表質問通告表

令和5年12月6日、7日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	山 崎 昌 伸 (新 政 い い だ)	1 市長の市政経営のあり方と来年度予算編成について (1) 市長マニフェストで「私の決意」として「心かよう市政」とあるが、これはどのようなイメージか (2) 市長マニフェストに掲げた14分野128項目への取り組みを現段階でどう総括するか (3) 目標値の設定の際に重視していることは何か (4) 職員の市民への対応において気配り・気遣いは十分か 2 コロナ禍における行政の対応について (1) 足かけ4年にわたるコロナ禍の経験や教訓を、次の感染症パンデミックにどう生かすか ① コロナ禍における行政としての対応をどのように総括しているか ② 社会的弱者と言われる人たちへの影響を詳細に把握分析しているか ③ 医療機関やエッセンシャルワーカーへの影響の実態把握は十分か ④ 観光事業者から「応援割宿泊」での返金が相次いだとのことだが、この実態は ⑤ 地域コミュニティの希薄化についてどう把握しているか、どのように対応しているか 3 こども子育て政策について (1) 全国自治体アンケートで飯田市は、こども子育て政策で「効果を実感している施策がある」と回答しているが、どのような施策からどのような効果があったか (2) こども基本法は、子どもに関わる政策に子どもの意見を反映させるよう、国や自治体に義務付けているが、具体的にどのように対応してきているか 4 市民が誇りをもてる環境文化都市の実現に向けて (1) 新・環境文化都市創造プランには「環境をテコにくらしと経済を再生していく」とあるが、この実現に向けて具体的にどう取り組む考えか (2) 来年度予算編成基本方針にはゼロカーボンシティ実現に向けて「脱炭素化への取組が全市民と共有できるように『見える化』を図る」とあるが、具体的にどうするか (3) 飯田女子高校生から環境への市の取り組みに対する提言があったが、具体的にはどのような提言がなされたか 5 防災・減災について (1) コロナ禍は防災意識の変化にどのような影響を与えたか (2) 豪雨時の小中学校休校の判断をどうしているか (3) 防災・減災へのドローンの活用は進んでいるか 6 中心市街地の今後のあり方について (1) 豊橋技術科学大学の学生らからの「丘の上を歩いて暮らせるまちにしては」との提案をどのように受けとめているか (2) 「歩いて楽しめる『丘の上』の構築」に向けて、りんご並木や桜並木と飯田市立動物園をどう生かすか 7 自治体DXについて (1) 自治体DXのあり方について2025年度末までに国の基準に合わせる必要があるとのことだが、進捗状況は (2) 自治体DXを進める目的は何か
2	福 澤 克 憲 (会 派 き ぼ う)	1 市の総合政策について (1) 今後10年間の財政見通しから考える令和6年度予算の考え方は (2) 飯田市の目指す地域自治の姿について ① 地域自治組織の今後の方向性は ② パワーアップ地域交付金を含む財源の検証は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	福 澤 克 憲	(3) 令和7年度までの時限措置となっている地方自治体にとって有利な起債の期限を見据えた公共施設の整備の考え方は (4) 更なる市民サービス向上のためのDXの推進、RPA導入の考え方は 2 リニア中央新幹線と三遠南信自動車道の開通を見据えたまちづくりについて (1) 広域的・全市的な観点に立った具体的な土地利用の方向性は (2) リニア駅前広場や高架下の民間活力の導入の考え方は (3) 交流拠点(天龍峡、遠山郷)のさらなる活用の考え方は (4) 全通を見据え産業団地等を含めた物流の考え方は (5) 交通弱者対策や中山間地域、市街地の交通、学生の利便性等を視野に入れた、持続可能な地域公共交通の考え方は 3 環境に配慮したまちづくりについて (1) ゼロカーボンシティ実現に向けての進捗状況は (2) 環境文化都市の実現に向けての市民意識の醸成は 4 活力ある産業振興と地域活性化について (1) 「地域内経済循環」の考え方は (2) 荒廃・遊休農地の活用の考え方は (3) 市への移住定住の促進の1つの施策として、農地付き空き家の活用の考え方は (4) 森林資源の活用の考え方は (5) 働くことを軸とする安心社会の実現に向けて ① 地域の雇用情勢をどのように分析しているか ② ワーク・ライフ・バランス実現に向けての取り組みは (6) 中心市街地の活性化について ① 中心市街地通行量調査の状況は ② 桜並木・中央公園・りんご並木・飯田市立動物園を中心とする区域の整備(旧飯田市公民館を含む)の考え方は 5 医療・福祉・介護・子育て環境の充実について (1) 医療・福祉・介護職場における人材確保の考え方は (2) 育児に係るさまざまな不安を軽減するため、子育て支援団体や医療機関との一層の連携の考えは 6 安全・安心なまちづくりについて (1) 市民要望の多い道路・河川の維持補修や雨水対策についての考え方は (2) 災害復旧事業においての直後の応急的対応から完全復旧までの国や県との連携の考え方は (3) 防災・減災、災害時対応を考えた地域コミュニティの考え方は
3	井 坪 隆 (会 派 み ら い)	1 市長の公約について (1) 未来に向けて市政は変わったか (2) 「対話と現場主義」をどのように評価するか 2 飯田市総合計画「いいだ未来デザイン2028」の推進について (1) 展望した人口維持ができていないと判断した根拠は (2) 若者が住みたいまちを目指すなかで、人口が維持できないとする状況や、迎えた急激な高齢化社会にあつては、総合計画の見直し(時点修正)が必要ではないか (3) 「大学のあるまち」の実現は可能と考えるか 3 地域自治と行政の在り方について (1) 飯田市自治基本条例は、市民、行政、それぞれに理解が深まっていると考えるか (2) 地区の自治組織が抱える課題にどのように対応していくか
4	宮 脇 邦 彦 (公 明 党)	1 市政運営と来年度予算編成について (1) 経済と生活の再生をめざして ① 来年度へ向けて経済と生活の再生へ予算編成をどう考えるか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	宮 脇 邦 彦	② 地域内経済循環の促進について、地域支え合いへ地域通貨をどう活かすか、飯田モデルの考え方は ③ 地域産業の育成及び高付加価値化において、人材育成の機能を果たすビジネス拠点を設置する考えは ④ リニア・三遠南信時代の観光振興について、サステナブルツーリズムの視点も含めてどう描くか ⑤ 来年度予算編成の中で、暮らしを支える社会基盤強化のため、人材への投資として注力した点は何か 2 誰もが安心して暮らせる社会の構築に向けて (1) 誰もが安心して暮らせる社会について ① 人口動態から見た実態を踏まえ、地域における女性の暮らしやすさ、生きやすさについて、市長はどう考えるか ② 地域性という視点から、ジェンダーギャップを克服するには何が必要か ③ 女性が活躍できる環境づくりを進めるには、地域社会の方向性をどう描けばよいか (2) 高齢者を支える社会に向けて ① 高齢者福祉、介護の現場では、コミュニケーションの重要性が問われるが、寄り添う福祉とはどう考えるか ② 高齢化による社会的孤独・孤立について、市の実態と対応は (3) 障がい者を支える社会に向けて ① 「いいだ障がい福祉プラン2024」において、多様化への対応として、自立支援や重度障がい者の学びをどう進めるか (4) 地域自治の推進と支援について ① まちづくり委員会等の地域コミュニティの弱体化について、どのような認識を持ち維持への支援を考えるか 3 子どもを産み育てやすい環境の充実について (1) 「結婚や出産・子育ての希望に寄り添うまち」について、市長の想いは (2) 家庭、子どもに対する支援の充実として、こどもまんなか社会へ向けた、困難を抱える子どもや子育て世帯への負担軽減につながる支援は (3) 不登校児童の実態と、当市の対応は (4) 小中連携・一貫教育へ、当市における新たな学校教育のあり方を、今後の飯田型キャリア教育、飯田型コミュニティスクールの方向性とともにもう描くか 4 山・里・街の魅力を高め、「ひと」の集まる地域づくりについて (1) 飯田市への人の流れをつくるには ① 基本構想段階に入りつつある新飯田文化会館について、そのコンセプトは ② 地域後継の人材への支援として、定住・移住促進、奨学金返還支援、テレワークを見据えたオフィス誘致、「ムトスぶらざ」における教育支援等について、その実績と今後の方向性は 5暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり (1) 防災意識社会の構築に向けて ① 近年の激甚化災害を受け、防災訓練の必要性が高まる中、司令塔となる災害対策本部の庁舎内横断的な施策及び課題整理の現状は ② 避難所運営について、女性の参画拡大への取り組み状況は ③ 消防団員の活動しやすい風土づくりへ、地元企業の理解促進へ向けた活動の進捗は (2) リニア二次交通政策推進について ① 自動運転LEVEL2の現状を踏まえ、MaaSの活用など、見えてきた二次交通の現状と方向性は (3) 安心して暮らせる快適なまちづくり ① 生活道路の更なる安全性向上に向けて、スムーズな横断歩道(ゾーン30プラス)への社会実験で見えてきたものとは、更に、今後の全市展開をどう考えるか 6 SDGsと気候変動、環境問題への対応について (1) 来年度の予算編成の基本方針における「ゼロカーボンシティ実現に向けて」の内容に、どうSDGsの理念が落とし込まれているか 市長の考えは
	宮 脇 邦 彦	

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
		(2) ゼロカーボンシティ実現へ向け、飯田市気候変動適応計画策定の進捗状況は (3) GX(グリーントランスフォーメーション)をまちづくりの中へどう取り入れ、活かすか、市長の考えは
5	市 瀬 芳 明 (日 本 共 産 党)	1 若者が戻ってきたくなる飯田への取り組みについて (1) 今後の人口減少をどのように分析していくか ① 2020年の国勢調査を基にした分析から見えた課題は何か (2) 「いいだ未来デザイン2028」との連動をどう考えるか ① 来年度予算編成の基本方針の中で、若者への戦略は何か (3) 飯田に若者を引き付ける突き抜けたビジョンは 2 環境文化都市へ加速する取り組みについて (1) ごみの減量が課題とのことだが、取り組み状況は ① 3R(リサイクル、リユース、リデュース)から4R(+リペア)への考えは ② エシカル消費、フードロスをなくす取り組みをどのように考えるか ③ 生ごみの処理についての考えは (2) 「うごくる。」の取り組みをどう活かしていくか ① 大人への提言をどう受け止めたか (3) 生活の中で出来る地球環境への配慮とは ① ゼロカーボンへの取り組みを2050年より前倒しする考えは ② 太陽光コンソーシアムをどう考えているか 3 学校教育の取り組みと今後の展開について (1) 安心、安全な学校生活を送るために ① 教員の勤務環境は改善されてきているか ② 情報モラル教育への取り組みの状況は ③ 多様な不登校児童・生徒への対応は 4 地域を支える福祉の実現に向けて (1) 飯田らしい地域包括ケアとは ① 地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーターの配置をどう考えるか (2) 飯田市の生活を支える公共交通と移動困難者支援をどう考えているか (3) 難聴者支援をどのように考えるか 5 リニア関連について (1) 関係地区住民との対話はどのような状況か (2) 開通時期の遅れと駅周辺整備後の費用の在り方は 6 飯田の地形を活かした観光について (1) 飯田の地形に魅力を感じてもらい観光へつなげるための取り組みは ① ユニバーサルツーリズム・サイクルツーリズムへの取り組みは可能か ② エコパーク・ジオパークを活かしていくための取り組みの現状は ③ 「リーンスタートアップ」の手法は活かせるか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	古 川 仁 (日 本 共 産 党)	1 令和6年度予算編成の基本方針について (1) 基本目標6「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ためには ① 結婚や出産の希望に寄り添う政策の実施の中で「婚姻に伴う新生活の経済的不安を解消する補助制度の拡充」とあるが現状は ② 出産の希望をかなえるための環境整備の推進は ア 妊婦への不安解消として不妊症・不育症へのサポートの継続とあるが、妊娠中のサポートは イ 「安心して子供を産むことができるよう産後のサポート体制の充実」とあるが現状は
2	岡 田 倫 英 (会 派 き ぼ う)	1 「若年層が『住みたい』と思うまちづくり」について (1) 令和5年度予算編成のテーマに位置づけたが、どのように取り組んできたか (2) 高校生の提言、活動が見受けられるがどのように捉えているか (3) 若年層の声を受け止める窓口を明確にしてはどうか 2 不登校児童・生徒への対応について (1) 他県の首長が「不登校の責任の大半は親にある」と発言して物議を醸したが、飯田市はどのような認識か (2) 県で信州型フリースクール認証制度が検討されているが、飯田市はどのように活用していくか (3) 「子ども第三の居場所」は多様な受け皿と情報の整理・発信が必要だと考えるがどうか
3	西 森 六 三 (会 派 き ぼ う)	1 第8次医療計画及び地域医療構想策定について (1) 2次医療圏域における飯田市立病院の役割について ① 地域医療支援病院及び基幹病院に課せられる役割について ア 紹介患者数及び逆紹介患者数の割合は地域医療支援病院の基準を満たしているか。また、特別初診料7,700円及び特別再診料3,300円の負担理由の理解度は イ 入院病床の機能的役割及び病床稼働率をふまえた、2025年から2030年までの病床数の考え方は ウ 検査及び検査機器シェアの観点から大型及び高額検査機器の更新計画は検討されているか エ 公的診療所等の医療機関への医師の派遣を含むバックアップ体制を考えなくてはならないが、その対策は検討されているか オ 現在の診療科数を維持するための医師の確保は現在進行形の課題となっているが、その対応は十分にできているか カ 医師及び看護師等の働き方改革で労働時間の短縮が求められているが、それにより生じる空白時間を埋めるための方策及び人員確保は十分か キ 医療資源の最大限の活用から、「プラチナ人材」に対する雇用の考え方は (2) 2次医療圏域における地域独自の課題解決に向けた取り組みについて ① 医療的ケア児等への支援体制の構築に向けた検討の進捗状況は
4	下 平 恒 男 (新 政 い い だ)	1 公民館の設備充実と避難所としての役割について (1) 20地区公民館の空調設備の設置状況は ① 全体としての設置状況は ② 今後の設置計画とその基準は ③ 災害時に炊き出しの役割を担う、調理室への設置状況と設置予定は (2) 20地区公民館の避難所としての役割は ① 4年ぶりに実施された、地震総合防災訓練の状況は ② 災害発生時の住民の避難先は ③ 20地区公民館に求められる役割は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	下 平 恒 男	(3) 避難所としての使用も見込まれる、20地区公民館の設備充実に向けた今後の方向性は 2 農地法の下限面積撤廃後の農家資格の基準について (1) 令和5年4月の下限面積撤廃後の、農地の利用状況は ① 近年と比較して農地利用は増加しているか、また下限面積撤廃が要因となった事例はあるか (2) 農家資格の基準は ① 新規就農者や農地の借り入れ希望者への対応は ② 新しい基準のあり方は
5	清 水 優 一 郎 (新 政 い い だ)	1 令和5年度 議会による行政評価からの評価及び提言書「基本目標9」の評価について (1) 基本目標の評価への対応状況は (2) 戦略計画(年度戦略)の評価への対応状況は (3) 事務事業評価への対応状況は 2 3歳未満児の「育休退園」について (1) 3歳未満児を保育園に預ける母親が下の子を出産して育児休業を取得すると上の子が原則退園となる「育休退園制度」の飯田市における運用状況は (2) 課題をどう捉えているか (3) “出産・子育ての希望に寄り添うまち”として早急に改善できないか
6	小 林 真 一 (公 明 党)	1 時代とともに変化してきた喫煙環境のこれからについて (1) ここ数年のたばこの消費(喫煙率)やたばこ税の状況は ① 喫煙率の状況は ② たばこ税の税収の状況は (2) たばこ税の利用用途は ① たばこ税とは ② たばこ税の利用用途は (3) 喫煙環境の変化に伴う公共施設での喫煙の考え方は ① 公共施設での喫煙の考え方は ② 今後、新設や改築が予定されている施設や場所での喫煙の考え方は ア 文化会館の現状と新文化会館では イ 道の駅遠山郷では ウ リニア駅前空間では
7	永 井 一 英 (公 明 党)	1 管理不全な空き家と空き地について (1) 管理不全な空き家への対応は ① 令和5年6月14日に公布された空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律との整合を図るため、飯田市は、飯田市空家等の適切な管理及び活用に関する条例の一部を改正する条例を令和5年9月に公布した。これにより、市独自に取り組んできた「準特定空き家等」「緊急安全措置」「軽微な措置」などの対応はどうか ② 「特定空家等」及び「管理不全空家等」について、所有者が判明している空き家も法律・条例の対象となるか。また、所有者が不明な場合と所有者が判明している場合で対応は異なるか (2) 管理不全な空き地への対応は ① 令和4年第4回定例会において、所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法の一部を改正する法律が令和4年11月1日に施行されたことを受けて「所有者不明の土地への対応について」取り上げた。その後、市として取り組まれたことはあるか ② 令和5年3月、国土交通省から「空き家対策と所有者不明土地等対策の一体的・総合的推進について」の事務連絡があったと聞く。内容は ③ 管理不全な空き地への市の対応は
8	原 和 世 (会 派 み ら い)	1 次年度に向けた地域の資源を活かすまちづくりについて (1) 地域の資源の価値を高める・活かす視点からまちづくりを考えることに関して ① 地域の資源を活かしたまちづくりから、活かすまちづくりの考え方は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 和 世	② 令和6年度予算編成の基本方針にはエビデンスに基づく政策立案(EBPM)の考え方が反映されたか ③ 子育て世代の居場所づくりに関し、地域の資源として飯田市立動物園を活かすことは ④ 若者の育成や地域の活力にスポーツは寄与すると思うが、そのための地域の資源としてスポーツ施設を活かすことは ⑤ 市民生活を支える建設・建築産業に関し、携わる技能労働者の減少に対し地域の資源として支えることは ⑥ 公務員の定年延長に関し、人材を活かすための考え方は

(6) 本会議傍聴状況(R5)

会 期	年 月 日	傍 聴 人 数
第 1 回定例会	令和5年2月22日	5
	令和5年3月9日	13
	令和5年3月10日	6
	令和5年3月20日	4
第 1 回臨時会	令和5年5月9日	3
	令和5年5月10日	0
第 2 回定例会	令和5年5月30日	5
	令和5年6月12日	13
	令和5年6月13日	30
	令和5年6月26日	4
第 3 回定例会	令和5年8月30日	4
	令和5年9月14日	10
	令和5年9月15日	26
	令和5年9月25日	3
第 4 回定例会	令和5年11月24日	3
	令和5年12月6日	14
	令和5年12月7日	28
	令和5年12月8日	13
	令和5年12月20日	3
計		187